

世界自然遺産推進共同企業体の活動報告



世界自然遺産推進共同企業体 事務局長 日本トランスオーシャン航空株式会社
執行役員 価値創造推進部門長 波照間 弘光

2025年2月

世界自然遺産共同企業体における設立目的と活動内容（規約抜粋）

（目的）

本企業体は、奄美大島、徳之島、沖縄島北部、及び西表島の世界自然遺産への登録を念頭におき、特に沖縄島北部、及び西表島を中心とする世界自然遺産登録地をはじめとする沖縄県内での環境保全・地域振興活動を目的とする。

（活動内容）

本企業体構成企業は、次の事項についてそれぞれで活動することとする。

また、本企業体としての具体的な活動内容等については、総会や担当者会議を以って決定するものとする。

- (1)希少種及び自然環境の保護
- (2)世界自然遺産に関する普及啓発、調査・研究等
- (3)密猟・密輸防止対策
- (4)行政による普及啓発等への参加及び協力
- (5)希少種及び自然環境の活用を通じた地域貢献・地域振興
- (6)SDGsの推進による社会の持続的発展への貢献
- (7)その他協議会の目的達成のために必要な活動

今期は環境保全活動・普及啓発活動に加え、
関係各所との意見交換を基に、企業体活動の中長期計画を定め、
企業体の今後の活動を広げるための取り組みを強化する。

世界自然遺産推進共同企業体 中長期的ビジョン

世界自然遺産登録後を見据えて環境保全、地域振興策を両立・加速させ、これらの循環モデルを沖縄から構築し、地域活性化に繋げる目的で、民間企業主導の「世界自然遺産推進企業共同体」の設立した経緯に鑑み、共同企業体理念の実現に向けた取り組みを推進します。



世界自然遺産推進共同企業体 中期的課題と対策

世界自然遺産登録地域について積極的に関係各所との意見交換を基に、課題解決のための企業体の中期計画を定め、それを基に具体的な年度活動計画を作成する

	課題	対策	単年度取り組み	モニタリング指標
企業体の活動	やんばる三村 <ul style="list-style-type: none"> 地域活性化が必要(人口減少) 環境保全(ノネコ、ロードキル、外来種) 	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口の増加 環境保全活動 普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口創出 <ul style="list-style-type: none"> 環境保全イベント40人 普及啓発への協力80人 企業体の各種取組等100人 環境保全イベント(2024/11) シンポジウム(2025/2) 環境保全に関する情報発信(美ら島財団資料提供)年2回程度 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者数 関係人口増減 ロードキル件数 希少種生息数 <p>(参考)やんばる三村来訪者数 県外約73万人/年 県内約382万人/年</p>
	西表 <ul style="list-style-type: none"> 入域管理 環境保全(ロードキル) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全活動 普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全イベント 環境保全に関する情報発信(環境省、県と連携) 	<ul style="list-style-type: none"> 入島者数 ヤマネコ事故件数
基金事業	<ul style="list-style-type: none"> 基金の有効活用及びフィードバック 資金造成 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会による適正審査及び助成事業報告会の開催 寄付金の呼びかけ クラウドファンディング HP改修 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回助成事業募集(2025/3) 会員への寄付金の呼びかけ(総会后) クラウドファンディング(2024年内) HP改修(8月中) 	<ul style="list-style-type: none"> 基金総額 助成事業件数 助成事業成果報告

世界自然遺産推進共同企業体今年度の活動について

2025年
1/18
(土)
参加無料!

参加者募集 外来種駆除イベント



2021年7月に世界自然遺産に登録され、世界に誇る自然と生物多様性を有する「やんばる」。しかし、外来植物の侵入により「やんばる」の豊かな生物多様性への影響が懸念されています。外来生物の駆除には多くの県民が一丸となった取り組みが必要です。あなたも外来種駆除の体験を通して世界自然遺産の魅力に触れてみませんか。



- 内容** 外来種駆除活動、ヤンバルクイナ見学(詳細は裏面をご覧ください)
- 日時** 2025年1月18日(土)8:30~17:00
- 実施場所** 「道の駅」ゆいゆい国頭近く ヤンバルクイナ生息展示学習館
- 集合場所** 県民広場(県庁前)又は名護市民会館(バスで移動します)
- 参加対象** 世界自然遺産推進共同企業体会員及びそのご家族(約60名) ※小学生以下は保護者同伴
- 参加費** 無料(昼食代は各自をお願いします)
- 応募締切** 2025年1月6日(月)まで ※上限に達し次第締め切ります

お申込みはこちらから



主催：世界自然遺産推進共同企業体
協力：NPO法人やんばる・地域活性化サポートセンター

【担当】日本トランスオーシャン航空
信用創造推進部 又吉
【電話】080-9853-1042

世界自然遺産推進共同企業体 シンポジウム2025

~かけがえのない価値を次世代へ~

2025年2月16日(日) 時間 13:00~17:00
場所 沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)



シンポジウム
事前申込・要予約

ワークショップ
事前申込(2月16日午後1時開始)
先着順・定員に達し次第は、
事務局にて中止となります。

シンポジウム

時間 13:00~15:30 [受付/12:30~] 場所 講堂(定員200名) 無料

自然の絆を守る ~世界自然遺産地域の持続可能な環境保全~

プログラム	司会:長嶺花菜
主催感謝挨拶 世界自然遺産推進共同企業体代表 野口 麗生 (日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長)	
基調講演① 森から見る世界自然遺産 琉球大学大学院理学部 森林環境学専攻 准教授 小林 麗生 【野口副司会との対談:自然と社会のつながりを通して持続可能な環境を構築する】	
基調講演② 海から見る世界自然遺産 一般社団法人沖縄県水産物産協会 会長 野中 正広 【野口副司会との対談:水産物産の持続可能な環境保全】	
パネルディスカッション 自然の絆を守る ~世界自然遺産地域の持続可能な環境保全~ コーディネーター 長嶺 花菜 パネリスト 小林 麗生・上原 広広高・鮎川 第一郎・長嶺 麗生・野中 正広 株式会社CHOCIC GARDEN H 環境部長 ネイチャーガイド 上原 広広高 【講演者マリア・フレシジャーニと対談:持続可能な環境を構築する】 NPO法人どうぶつたちの病院 院長 長嶺 麗生 長嶺 麗生 【講演者との対談:自然と社会のつながりを通して持続可能な環境を構築する】	



鮎川 第一郎

長嶺 花菜

鮎川 第一郎は、沖縄県立博物館・美術館の学芸員として、自然史の展示や教育活動に貢献されています。長嶺 花菜は、環境保護活動に積極的に参加し、持続可能な社会の実現を目指しています。

ワークショップ

時間 15:30~17:00 [受付/15:00~] 無料
場所 博物館実習室(定員30名)

希少種を学ぶ切り絵ワークショップ

【対象】小学生(3年生以下は保護者同伴)
【費用】学校法人KBC学園 環境創造生室 長知念 仁志
NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄創設事業 金城 遼平



主催：世界自然遺産推進共同企業体
後援：環境省、沖縄県、那覇市

【問合せ先】世界自然遺産推進共同企業体事務局 Tel:0980-48-2266(一対一) 沖縄美ら島財団内 E-mail:whn@oichikura.jp



基金の造成状況

2022年6月21日設立から2024年8月6日までで、5,300,334円の寄付を頂いています。

令和6年度世界自然遺産沖縄基金助成事業 採択事業

- ・ 募集期間 2023年11月1日～12月28日
- ・ 応募総数 23件
- ・ 審査結果 3件
- ・ 採択事業
 - ①世界自然遺産登録地における世界遺産教育プログラム構築に必要な基礎資料の収集と教材化に資する調査研究
 - ②自動撮影カメラによるヤンバルクイナの親子の動向把握調査
 - ③沖縄島北部におけるケナガネズミの道路利用の時間帯と季節性

世界自然遺産推進共同企業体のロゴマークが決定

テーマ: 「自然の調和と多様性」

西表島とやんばるに生息する特有の植物や動物を、幾何学的な形状に取り入れ、自然環境を象徴するデザインとなっている。幾何学模様は、自然界の秩序や調和に加え、自然の美しさとその複雑さを視覚的に表現。また、自然を反映した色合いを使用し、地域の豊かな生態系を強調している。デザインに「自然との共生」をテーマにしたメッセージを込めることで、環境意識を高めることができる。



世界自然遺産推進共同企業体

World Natural Heritage **Okinawa** Conservation Consortium



ヒカゲヘゴの幹につかまる
テナガゴガネ

ガジュマル

イジュ

ヤンバルクイナと
ヤンバルフモトシダ

コノハチョウ

イシカワガエル

(参考) 世界自然遺産推進共同企業体 活動実績 (2023-24年度)

7/14
・第5回 通常総会



9/17 ・やんばる3村ビーチクリーン活動
10/18 ・西表ビーチクリーン活動



11/25 ・ツルヒヨドリ駆除作業



2023年

2024年

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

基金を活用した助成事業の開始
募集期間：11/1~12/28
審査会：2024/2/15

<https://churashima.okinawa/wnhof/>

世界自然遺産沖縄基金
World Natural Heritage Okinawa Foundation

各種寄付金贈呈式
・愛知県パナソニックショップ会様
・本部造園様
・イオン琉球様



事務局会議

- ・第1回 7/4
- ・第2回 7/25

役員会議 7/30

議題

- ・中長期的ビジョン
- ・中期的課題と対策
- ・企業体及び各会員の取組 等



奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
世界自然遺産

(参考) 世界自然遺産推進共同企業体 活動実績 (2023-24年度会員活動)

<p>一般財団法人沖縄美ら島財団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度名桜大学シリーズ公開講座 ・在来希少種の保全に関する研究 ・西表島植物誌編纂事業 ・環境保全支援活動(エコクーポン事業) 	<p>太平電機株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然を守るタオル®事業 ・どうぶつレスキューボックス ・生物保護装置事業 (どうぶつたちの病院沖縄との共同実験) 
<p>ダイドードリンコ株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援型自動販売機設置 (自販機の収益金の一部を活用して世界自然遺産沖縄基金へ寄与) 	<p>イオン琉球株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名桜大学社会科学特別講義 ・オリジナル「絶滅危惧種支援」グッズ販売 (売上の一部を世界自然遺産沖縄基金へ寄付予定) 
<p>オリオンビール株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どさんこしまんちゅプロジェクト 「オリオン WATTA メロン&マンゴー」発売 (売上の一部を世界自然遺産沖縄基金へ寄付予定) 	<p>日本トランスオーシャン航空株式会社(JALグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードキル機内放映・機内誌掲載 ・EVバス「やんばるの森ネイチャーガイドツアー」 (売上の一部を世界自然遺産沖縄基金へ寄付) ・図画コンクールデザイン機就航 (沖縄県事業) 

(参考) 世界遺産共同企業体の会員について

2024年7月時点
56団体所属

参画順
事務局企業

- 1.イオン琉球株式会社
- 2.株式会社 エフエム沖縄
- 3.オリオンビール株式会社
- 4.キリンビール株式会社沖縄支社
- 5.株式会社 ジャンボツアーズ
- 6.タピックグループ
- 7.有限会社 安栄観光
- 8.沖縄コカ・コーラボトリング株式会社
- 9.沖縄セルラー電話株式会社
- 10.株式会社 沖縄タイムス社
- 11.沖縄テレビ放送株式会社
- 12.沖縄ポッカ食品株式会社
- 13.株式会社 沖縄海邦銀行
- 14.一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- 15.株式会社 沖縄銀行
- 16.一般社団法人 沖縄県レンタカー協会
- 17.日経教育グループ
- 18.一般社団法人 八重山ビジターズビューロー
- 19.八重山観光フェリー株式会社
- 20.株式会社 八重山日報社
- 21.株式会社 八重山毎日新聞
- 22.琉球朝日放送株式会社
- 23.株式会社 琉球銀行
- 24.株式会社 琉球新報社
- 25.琉球放送株式会社
- 26.NHK沖縄放送局
- 27.株式会社 ラジオ沖縄
- 28.石垣島ケーブルテレビ株式会社
- 29.石垣島空港ターミナル株式会社
- 30.株式会社 パム コークリエーション
- 31.いであ株式会社沖縄支社
- 32.那覇空港ビルディング株式会社
- 33.一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター
- 34.株式会社 沖縄環境保全研究所
- 35.南部観光協力会
- 36.全日本空輸株式会社沖縄支社
- 37.太平電機株式会社
- 38.株式会社 南都
- 39.アニコムホールディングス株式会社
- 40.公益財団法人 イオン環境財団
- 41.NPO法人 やんばる・地域活性サポートセンター
- 42.株式会社 南西環境研究所
- 43.日本たばこ産業株式会社沖縄支店
- 44.株式会社 ビーンズラボ
- 45.日本カーソリューションズ株式会社
- 46.株式会社 沖縄ファミリーマート
- 47.株式会社 JTB沖縄
- 48.アソビュー株式会社
- 49.ダイドードリンコ株式会社
- 50.株式会社 未来図
- 51.丸正印刷株式会社
- 52.日本トランスオーシャン航空株式会社
- 53.日本郵便株式会社 沖縄支社
- 54.株式会社 NTTドコモ
- 55.NPO法人 どうぶつたちの病院沖縄
- 56.一般財団法人 沖縄美ら島財団

今期は、企業体の中長期ビジョンや課題について共通認識を持ち、企業体主体の活動を活発化させる転機となりました。今後も貴重な自然遺産を守り、未来へ繋ぐ責務を果たすべく、関係各所と連携しながら世界自然遺産推進活動を継続してまいります。